



夢をかたちに



D. K. Lee

李東建
2008-09年度国際ロータリー会長

No. 24

Takasago Rotary Club

週報

高砂

クラブ会長方針

- ①ロータリーを楽しもう
- ②子どもたちが幸せになるために
- ③友愛奉仕活動を実践しよう
- ④ロータリーの綱領を実践する

例会記録 (2008. 12. 23 (火)) 通算2,739回

◆開 会

◆来訪ロータリアン (12 / 26)

姫路中央R. C	室田隆重会員
高砂青松R. C	西中亮二会員
高砂青松R. C	廣瀬明正会員
高砂青松R. C	内海 薫会員
高砂青松R. C	中谷利幸会員

◆プログラム予定

1月2日 (金)	1月9日 (金)	1月16日 (金)	1月23日 (金)
休 会	新年初例会 新年挨拶・初謡他 謡曲同好会	自己紹介 安藤公夫会員	新春放談 高砂市長 登 幸人 様

◆出席報告

本日 12月23日 会員数49名 欠席者11名 出席率72.50%
前々回 12月12日 会員数49名 欠席者 0名 出席率100%

◆MAKE-UP

桂田 重信会員 神戸ハーバR.C 12月17日
砂川 次善会員 e-C L U B 12月16日
安藤 公夫会員 e-C L U B 12月19日
荒川 俊雄会員 e-C L U B 12月22日
田中 泰生会員 e-C L U B 12月22日

◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

丸山 恵右会員……新世代会議ご協力ありがとうございます。
早退 2名

◆大阪天満天神 繁昌亭ツアー

12月21日(日) 片嶋会員に企画いただきました 大阪天満天神 繁昌亭ツアー
林家染丸 桂三風 柳家権太楼 桂朝太郎 他



大阪天満天神 繁昌亭をバックに桂三風を囲んで



三宮 時計屋にて

高砂青松R.C・高砂R.C合同例会・新世代会議

●2008年 新世代の主張プログラム

1. 実施日 2008年12月23日(火・祝)
2. 場所 高砂市青年の家(体育室)
3. 発表者 高砂高校 2年 鈴木美樹 「フィリピンでの7日間」
高砂南高校 1年 松本千裕 「中学生の時の私」
神戸市外大 3年 王 彩麗 「中国と日本の教育事情」
松陽高校 2年 上杉友貴 「私たちの『あたりまえ』」
白陵高校 1年 松永博之 「生徒会に入って」
4. 来賓 登 幸人(高砂市長)
佃 昌典(高砂市教育長)
國分 光雄(高砂市青少年健全育成連絡協議会会長)
廣瀬 友良(高砂高校校長)
黒田 兼生(高砂南高校校長)
瀬戸川 孝(松陽高校校長)
吉田 卓(白陵高校校長) (敬称略)
5. 日程 受付開始 13:00
開 会 13:30
開会の挨拶 13:35(高砂青松ロータリークラブ会長)
市長挨拶 13:40(高砂市長)
来賓紹介 13:45
新世代の主張 13:50(意見発表と参加者の質疑や助言)
及び意見交換
講 評 15:10(高砂市教育長)
閉会の挨拶 15:20(高砂ロータリークラブ会長)
閉 会 15:30
6. 主催 高砂ロータリークラブ
高砂青松ロータリークラブ
7. 共催 高砂市・高砂市教育委員会
高砂市青少年健全育成連絡協議会



司会 高砂青松R.C 鹿間会員 高砂R.C 丸山会員

●開会の挨拶 高砂青松R.C 鹿間行雄 会長

新世代の主張は、今回を持ちまして第13回目を迎えることができました。これは、偏に大勢の皆さんのご協力を頂いた賜物と感謝しております。

さて、年末の慌ただしい時期ではございますが、本年も高砂市内4つの高等学校から選出された生徒の皆さんに、意見を発表して頂くこととなりました。また、高校生とは異なった視点からの意見も聞かせて頂きたいとの思いから、今回はロータリー米山記念奨学生の王彩麗さんにも意見発表に加わって頂くことになっております。

新世代の皆さんの斬新な発想と若い息吹に触れて、新たな着想を引き出す一助にして頂ければと願っております。一方新世代の皆さんにとりましても、経験豊富な先輩方のコメント・講評等を通じて、思考の幅を広げる機会として本日の集いを生かさせて頂ければ嬉しく思います。

ところで、新世代の主張は、高砂ロータリー・クラブと高砂青松ロータリー・クラブの二つのクラブが共同してお世話させて頂いております。ロータリー・クラブでは、「一人一人が他人の立場に立って物事を考え、他人のお役に立つような行動をしよう。」との思いで活動しております。高砂市内には、二つのロータリー・クラブがございまして、二つのクラブを併せて約100名の会員が在籍しております。日本全国には10万人弱、全世界の国・地域では100万人を超える会員を擁しております。本日を契機と致しまして、多少なりともロータリー・クラブをご理解頂ければ幸いです。

最後になりましたが、年末のご多忙の中をご臨席賜りました登市長様始め、青少年教育にご尽力頂いているご来賓の皆様、意見発表を頂く生徒の皆様、またご指導を頂いた各学校の先生方、並びに聴衆の皆様に感謝申し上げます、開会のご挨拶と致します。



●市長挨拶 登 幸人 高砂市長



●新世代の主張及び意見交換



高砂高校2年 鈴木美樹さん
「フィリピンでの7日間」



高砂高校 廣瀬友良 校長



高砂南高校1年 松本千裕さん
「中学生の時の私」



高砂南高校 黒田兼生 校長



神戸市外大 王 彩麗さん
「中国と日本の教育事情」



高砂市青少年健全育成連絡協議会
國分光雄 会長



松陽高校2年 上杉友貴さん
「私たちの『あたりまえ』」



松陽高校 瀬戸川 孝 校長



白陵高校1年 松永博之君
「生徒会に入って」



白陵高校 吉田 卓 校長

●講評 佃 昌典 高砂市教育長



●閉会の挨拶 高砂R.C 坂牛八州 会長



両会長と発表者

●閉会の挨拶 高砂R.C 坂牛八州 会長

青松R.Cとの合同事業であります「新世代の主張」、ご参加ありがとうございました。
今回は、恒例にもまして盛り上がった楽しいひと時でした。

前日、トライアルウィークで体験実習をした中学生が5人遊びにやってきました。

明日も来たい、と言うので、「明日は保育園休みやでー」というと「あっそうやった学校も休みや」「何で休みなんやろう」「学校ができた日とちゃうか？」ああでもない、こうでもない、と答がでないので、私が「天皇の誕生日や」といったら、「天皇って、何？」5人が5人口をそろえていうから、「ハ－新世代やナー」と実感した次第。天皇について説明すると目をくりくりさせて、驚いていました。

さて、折りしも、李R.I会長の「素晴らしい世界を後世に残すためには、まず、最も若い世代に焦点を。ですから今年度、世界中のロータリアンのみなさんに地域社会の最も大切な資源である「子どもたち」に光を当てていただきたい。」との方針と方向性も同じで「新世代の主張」が実施されました。

終始和やかに4人の高校生と一人の中国からの女性の留学生の方（青松ロータリー・志方カウンセラー米山奨学生）の主張を拝聴しました。色々教えられました。高校生からは体験、経験から自分自身を発見し、自分自身の確立への扉を開き、頼もしくさえ感じました。中国からの留学生の方からは日本にいる中国人から見た中国の教育事情を聞くことができました。

僭越ながら40年もの昔、私が英国留学中で得た貴重な体験は、日本発見でした。

英国全土でアジアの東の果て（Far East）からやってきた日本人が1,000人に満たない時代でしたし、私のいた学校がノッティンガム州の片田舎でしたから、数奇な国の人とでも思われたのか、日本について話してくれというリクエストが絶えませんでした。退屈な土日の時間つぶしには格好の出し物だったようです。小中高の学校にも随分呼ばれました。

実は当時、私自身は、日本を紹介するような知識はほとんど持ち合わせておりませんでした。オファーがあってからは学校の勉強そっちのけで、日本大使館からいただいた日本の資料を読み漁りました。本当によく勉強しました。私はひょっとして日本大使ではかと思う程でした。私にとっての留学体験は自分自身の日本発見でした。

新世代の方々の体験からの考え方の素晴らしさを目の当たりにして、旧世代の私は安心して新世代にバトンタッチできるものと実感しました。

会 長 坂牛 八州 幹 事 守光 隆

例会日時 毎週金曜日12時30分より

高砂ロータリークラブのホームページのURL

雑誌会報委員長 田中 泰生

例会場 高砂商工会議所2階会議室

http://www.winwin.ne.jp/~takasago_rc/